

「注入速度の違いについて」

相互接続防止コネクタに係る国際規格(ISO(IEC) 80370 シリーズ)

※興味本位の簡易的実験をしてみました。腹圧やチューブ等の条件により変動するため、ご参考程度にお考えいただけましたら幸いです。
お付き合いいただきました大塚製薬工場様、ありがとうございます！！



ラコール半固形栄養剤注入比較

従来規格(黄) コネクタなし 20cm程度のチューブ使用	注入開始	新規規格(紫) 30cm程度の連結チューブ使用 ※従来品より内径が1mm程度狭い
急速に注入される	~1'00"	急速ではなく徐々に注入される
250g程注入完了	~2'00"	
めっちゃゆっくりだけど、少しずつ注入	~5'00"	注入開始時同様の注入
ほぼ停止	~8'00"	
×	~8'30"	スピードはやや低下がするが注入されている
	~10'00"	めっちゃゆっくりだけど、少しずつ注入
違いなし	圧の変化	違いなし
20gあるかないか	残量	30g程度ありそう
手で巻いて押し出すことができる	絞り出し	絞り出す時の抵抗がハンパない
2分間で全量に近い量が注入された。コネクタ付きのチューブ使用をすると、投与にもう少し時間がかかりそう。	全体の感想	10分間継続して注入されていた。最後の絞り出しの抵抗が強いため、再加圧した方が疲労が少ないかも。
接続部なし20cm程度のチューブ使用 14"	水300ml	30cm程度の連結チューブ使用 36"



～実験の感想～

胃の中にどう注入されているか実際に見て、思っていたより急速に注入され、一気に飲み、一気に食いな勢いで驚きました👀！
腹圧やチューブの長さにより投与速度も変動します。
従来規格のコネクタ付きを使用したら、もう少し差が縮まると思います。

ラコール半固形栄養剤に関しては、経口摂取するゼリー類とは違い、思った以上にベタ付きなくサラサラサッパリ!!
栄養剤が入っていた袋を濯いで水を入れましたが、寒天効果か脂質感もなく付着性なし。
べったりと栄養剤が付着していたあのチューブは、どの程度使用していたんだろう……。



認定栄養ケアステーション

ちぼ